

長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2025年第1週 2024年12月30日（月）～2025年1月5日（日）2025年1月10日作成

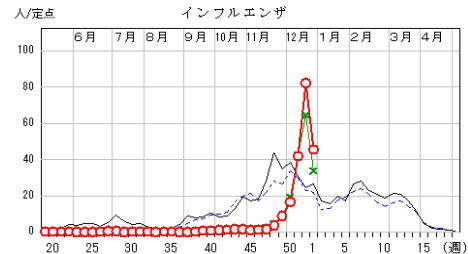
☆定点※報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

（1）インフルエンザ

第1週の報告数は3192人で、前週より2567人少なく、定点当たりの報告数は45.60であった。

年齢別では、40～49歳（403人）、50～59歳（336人）、10～14歳（290人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（128.63）、対馬保健所（73.67）、県北保健所（69.50）であった。

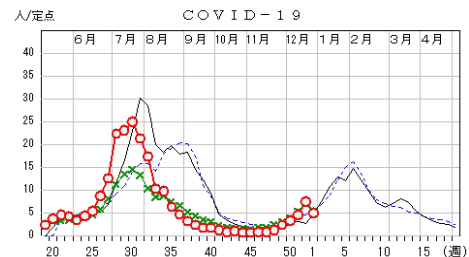


（2）新型コロナウイルス感染症

第1週の報告数は351人で、前週より178人少なく、定点当たりの報告数は5.01であった。

年齢別では、80歳以上（64人）、70～79歳（50人）、60～69歳（47人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、壱岐保健所（14.33）、上五島保健所（13.00）であった。

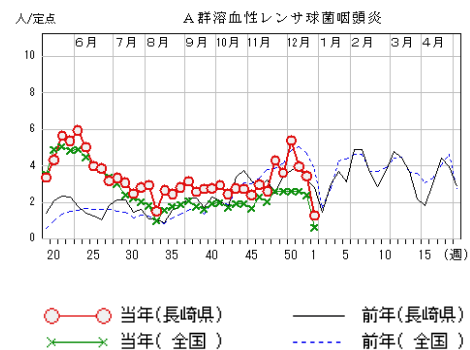


（3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第1週の報告数は56人で、前週より95人少なく、定点当たりの報告数は1.27であった。

年齢別では、7歳（9人）、6歳（8人）、10～14歳（7人）の順に多かった。

定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（7.60）であった。



※インフルエンザ/COVID-19定点数：70、小児科定点数：44、眼科定点数：8、基幹定点数：12

☆上位3疾患の概要

【インフルエンザ】

第1週は3,192人の報告があり、定点当たり報告数は45.60でした。3週続けて警報レベルの報告数となっています。地区別にみると、10保健所中8保健所で警報レベル、1保健所で注意報レベルの報告数となっています。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。感染経路は、咳やくしゃみによる飛沫感染と、飛沫等に含まれるウイルスが付着した手指で自分の眼や口、鼻を触ることによる接触感染があります。1日から3日間の潜伏期間のあとに38度以上の発熱、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛、関節痛などの全身症状が突然現れます。これに続いて咳、鼻汁などの上気道炎症が起こり、約1週間で軽快するのが典型的な症状です。

今後も手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策を励行し、予防に努めましょう。

【新型コロナウイルス感染症】

第1週の報告数は351人で、定点当たり報告数は5.01でした。地区別では、壱岐地区（14.33）、上五島地区（13.00）は他の地区より多くなっています。今後も動向に注意しましょう。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

第1週の報告数は56人で、定点当たりの報告数は1.27でした。地区別にみると県南地区（7.60）は、警報レベルの報告数となっています。

本疾患の好発年齢は5歳から15歳で、鼻汁、唾液中のA群溶血性レンサ球菌を含む飛沫などによってヒトからヒトへ感染します。また、食品を介しての経口感染もあります。潜伏期間は約1日から4日で、突然の発熱（高熱）、咽頭痛、全身倦怠感、時に皮疹もあります。症状がある場合は、早めに医療機関を受診するとともに、手洗いを励行し、感染防止に努めましょう。

☆トピックス：インフルエンザが流行しています

2025年第1週は3,192人の報告があり、定点当たり報告数は45.60で、3週続けて警報レベルの報告数となっています。県内では、2024年第52週に、現行の調査が開始された1999年以降で最多となる、定点当たり報告数「82.27」となりました。

地区別にみると、五島、上五島地区を除くすべての地区で警報レベルの報告数となっています。

年代別では、10歳未満（26%）、10代（15%）が多くなっています。

また、長崎県環境保健研究センターにおいて、2024/2025シーズンに搬入された検体から、インフルエンザA/H1pdm09の遺伝子が検出されています。

多くの学校で新学期を迎え、学校での感染拡大が懸念されることから、より一層の注意が必要です。今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

発生状況について、長崎県感染症情報センターホームページ内「インフルエンザ」にも掲載しています。

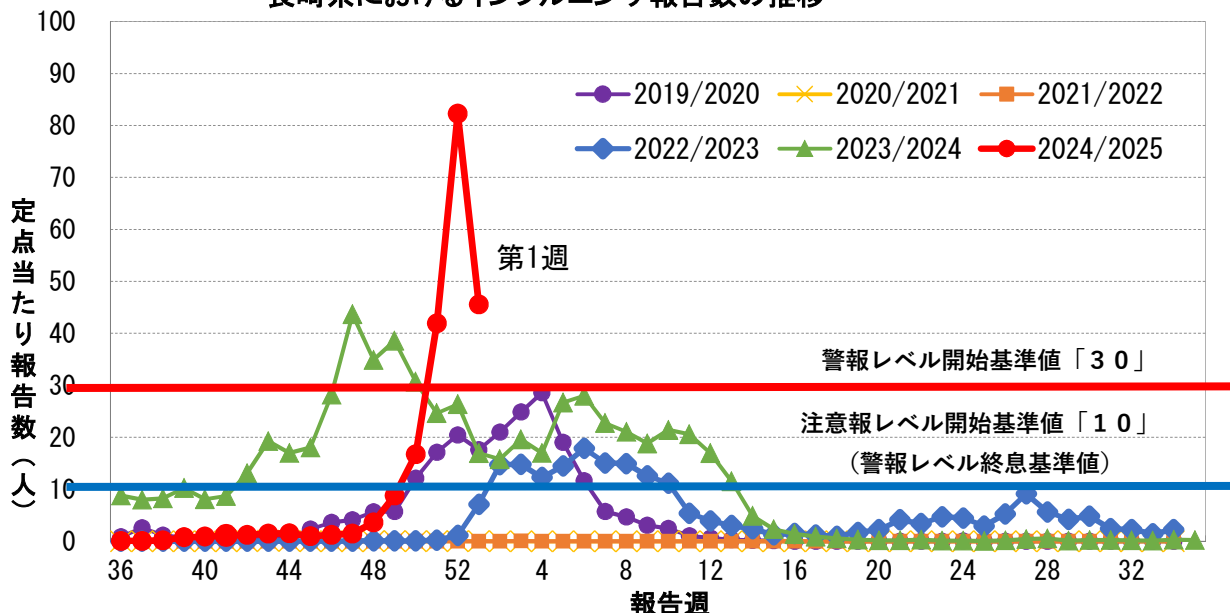
（参考）厚生労働省 インフルエンザ総合ページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuenza/index.html

（参考）長崎県地域保健推進課 インフルエンザ流行警報の発表

<https://www.pref.nagasaki.jp/press-contents/701403/index.html>

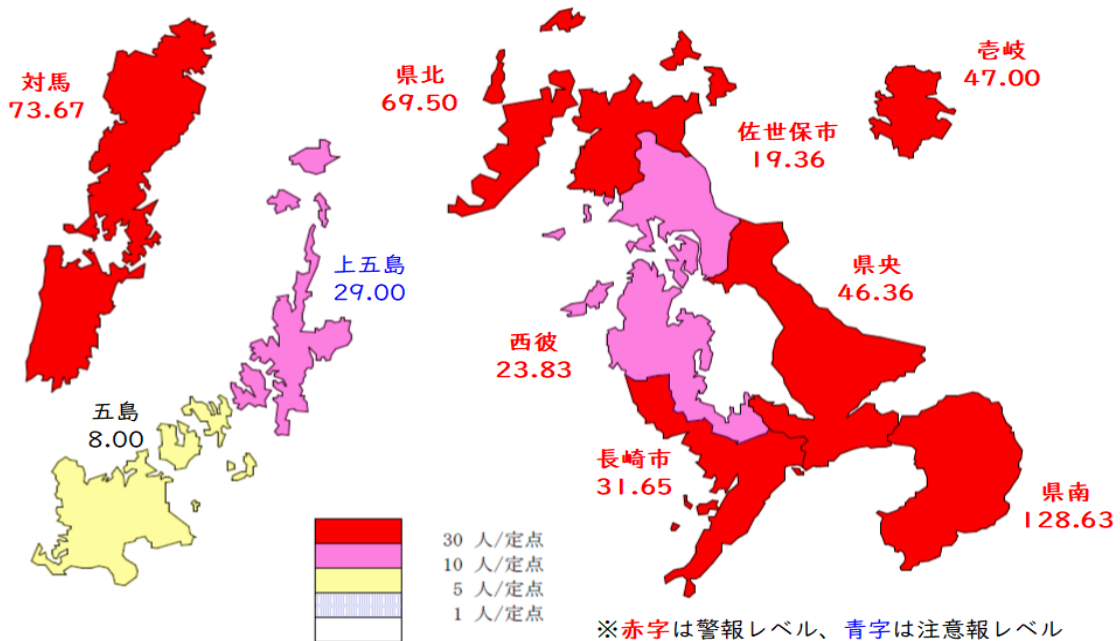
長崎県におけるインフルエンザ報告数の推移



インフルエンザの年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	839	493	251	288	403	336	249	192	141
報告割合(%)	26.3	15.4	7.9	9.0	12.6	10.5	7.8	6.0	4.4

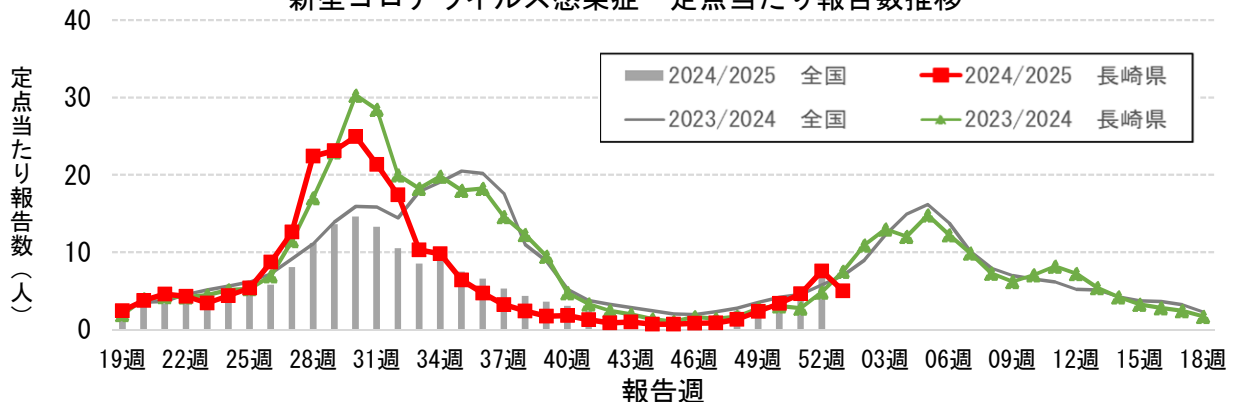
インフルエンザ 保健所別定点当たり報告数



☆トピックス：新型コロナウイルス感染症に注意しましょう

新型コロナウイルス感染症の長崎県における第1週の定点当たり報告数は「5.01」でした。
年代別にみると、80代以上（18%）、70代（14%）、60代（13%）の順に多くなっています。
昨年は年末年始にかけて報告数の増加がみられましたので、引き続き注意が必要です。場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

新型コロナウイルス感染症 定点当たり報告数推移



新型コロナウイルス感染症の年代別患者報告数

	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上
報告数(人)	27	16	37	44	29	37	47	50	64
報告割合(%)	7.7	4.6	10.5	12.5	8.3	10.5	13.4	14.2	18.2

◆全数届出の感染症

2類感染症：報告なし

3類感染症：報告なし

4類感染症：報告なし

5類感染症(全数把握対象)：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 患者 男性(70代・1名)

侵襲性肺炎球菌感染症 患者 女性(40代・1名、60代・1名)

◆定点把握の対象となる5類感染症

(1) 疾病別・週別発生状況 (第48～1週、11/25～1/5)

疾 患 名	定 点 当 た り 患 者 数					
	48週	49週	50週	51週	52週	1週
	11/25～	12/2～	12/9～	12/16～	12/23～	12/30～
インフルエンザ	3.64	8.79	16.73	41.96	82.27	45.60
新型コロナウイルス感染症	1.30	2.36	3.37	4.64	7.56	5.01
RSウイルス感染症	0.07	0.02	0.16	0.05	0.09	0.05
咽頭結膜熱	0.25	0.45	0.30	0.14	0.30	0.07
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	4.30	3.61	5.39	3.95	3.43	1.27
感染性胃腸炎	2.34	3.18	2.61	3.55	2.89	0.64
水痘	0.30	0.25	0.25	0.36	0.34	0.27
手足口病	1.50	1.16	0.70	0.43	0.30	0.14
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.20	0.11	0.11	0.25	0.27	0.09
突発性発しん	0.39	0.23	0.25	0.32	0.34	0.07
ヘルパンギーナ	0.09	0.11	0.02	0.02	0.02	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.05	0.02		0.02		0.05
急性出血性結膜炎	0.13	0.13		0.75	0.25	0.13
流行性角結膜炎	0.38	1.75	0.50	2.25	2.50	0.88
細菌性髄膜炎				0.08		0.08
無菌性髄膜炎	0.08					
マイコプラズマ肺炎	2.25	1.25	1.00	0.67	1.17	0.50
クラミジア肺炎(わん病は除く)			0.08			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)			0.08		0.08	0.33

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況 (第1週、12/30～1/5) ※赤字：警報レベル、青字：注意報レベル

疾 患 名	定 点 当 た り 患 者 数 (県 ・ 保 健 所 管 轄 別)										
	県	佐世保市	長崎市	壱岐	西彼	県央	県南	県北	五島	上五島	対馬
インフルエンザ	45.60	19.36	31.65	47.00	23.83	46.36	128.63	69.50	8.00	29.00	73.67
新型コロナウイルス感染症	5.01	0.64	4.53	14.33	2.33	3.82	9.25	4.50	2.25	13.00	9.33
R S ウィルス感染症	0.05						0.40				
咽頭結膜熱	0.07		0.20			0.14					
A 群溶血性いザ球菌咽頭炎	1.27		0.50		0.75		7.60	0.33	1.33		2.50
感染性胃腸炎	0.64	0.33	1.00		1.00	0.71	0.60	1.33			
水痘	0.27	0.33	0.70			0.14		0.33	0.33		
手足口病	0.14	0.50	0.10			0.14					0.50
伝染性紅斑（リンゴ病）	0.09		0.20		0.50						
突発性発しん	0.07		0.20				0.20				
ヘルパンギーナ											
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.05		0.10					0.33			
急性出血性結膜炎	0.13						1.00				
流行性角結膜炎	0.88		0.33				6.00				
細菌性髄膜炎	0.08						1.00				
無菌性髄膜炎											
マイコプラズマ肺炎	0.50	5.00				1.00					
クラミジア肺炎（わん病は除く）											
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0.33					4.00					